

第 49 回交通技術セミナー(オンライン開催)

『安心・安全な道路交通(空間)に向けて』

～多様な視点から学ぶ～

主催:一般社団法人 交通工学研究会 交通技術研究小委員会

近年、交通事故の抑止と道路交通の安全性向上に対する社会的要請はますます高まっています。特に、交通環境の多様化・高度化が進む中で、事故リスクの低減に向けた取り組みには、従来の経験則や対症的な対策にとどまらず、先進技術やデータ解析の積極的な活用が求められています。

警察庁の発表によれば、2024 年の交通事故死者数は前年比 15 人減の 2,663 人で、統計が残る 1948 年以降で 3 番目に少ない数となりました。しかし、65 歳以上の高齢者の死者数は前年比 47 人増の 1,513 人で全体の 56.8% を占めており、特に自動車や自転車乗用中の事故が増加傾向にあります。また、子どもに関する交通事故も依然として深刻な問題で、2020 年以降の 10 歳未満でみると増加傾向となっています。

道路空間の安全性をより高めるには、建設コンサルタントをはじめとする実務者が、技術の進展やその実務への応用可能性を的確に把握し、調査・計画・設計の各段階において具体的に反映させていくことが重要と考えます。

今年度の交通技術セミナーでは、「安心・安全な道路交通(空間)に向けて」をテーマに、最新の交通事故分析手法や結果、最新技術などを用いた、従来の手法や枠組みにとらわれない交通事故予防のアプローチ、そしてそれらを道路・交通計画にどのように反映していくかについて、学識者や政策に携わっている方、実務者の方などの専門家をお招きし、ご講演を頂く予定です。多数の皆様の参加をお待ちしております。

- 開催日 : 2025年11月5日(水) 13:30~17:15(予定)
- 開催形式 : Zoomを使ったオンライン形式
- 参加費 : 交通工学研究会会員 7,700円 学生会員 2,200円 非会員 8,800円(いずれも消費税含む)
- 登壇予定

地域交通の視点から

吉田 樹 福島大学 教育研究院 教授・学長補佐
前橋工科大学 学術研究院 特任教授

道路交通安全にかかる政策・取組から

国土交通省 道路局 環境安全・防災課

「交通心理学」の観点から

小菅 英恵 主幹総合交通心理士
交通事故総合分析センター(ITARDA) 研究部

交通安全対策の研究・現場から

加藤 秀樹 豊田都市交通研究所 主幹研究員

- ・プログラム及び講師の変更、その他の緊急の連絡は当会ウェブページ等でご案内します。
 - ・会社や自宅などで受講頂くことを想定しておりますが、適当な受講場所の確保が難しい方は事務局までメールでご相談下さい。
- ※受講場所等に関するお問合せ:一般社団法人交通工学研究会 事務局 MAIL: event-a@jste.or.jp

■参加登録について:

- ・当会ウェブページ(<https://www.jste.or.jp/events/>)の交通技術セミナー欄よりお申込みください。
- ・本セミナーに参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込みフォームから参加者情報等を入力し「参加申込用マイページ」をご作成ください。
- ・マイページにて、参加費の支払手続き(請求書類・領収書のダウンロード)ができますので、お手続きください。
- ・お支払い手続きの確認ができた方には、参加方法や資料入手方法等のご案内をメールでお送りします。

参加申込み・参加費納入・キャンセルに関するお問合せ:一般社団法人交通工学研究会 受付事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内
MAIL: maf-jste.event@mynavi.jp



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <https://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。